

SOKA WOMEN'S COLLEGE
SCHOLARSHIP GUIDEBOOK

奨 学 金 ガ イ ド ブ ッ ク
・・・ 2025 ・・・



SOKA Women's College

創価女子短期大学 独自の奨学金制度について

創価女子短期大学では、多くの方からの真心のご支援を財源に、独自の奨学金制度を実施し、学生を支援してきました。

POINT 1：すべて返還義務のない奨学金制度です。

一般的に奨学金には、卒業後返還が必要な「貸与型奨学金」と返還義務のない「学費減免型奨学金」「給付型奨学金」があります。学生のみなさんが安心して学業に取り組めるよう、創価女子短期大学独自で実施している奨学金はすべて返還義務のない給付型奨学金です。

POINT 2：経済支援と学業奨励の制度が充実しています。

創価女子短期大学の奨学金制度は、「経済的に困難な学生を支援するための奨学金」と「成績優秀者を奨励するための奨学金」が充実しています。それぞれの制度に設けられている採用基準をご確認ください。

POINT 3：緊急時の経済支援も実施しています。

掲載している奨学金制度の他にも、ご実家が災害に被災した学生への支援や、予測できない事情によって家計が急変してしまった学生への支援も実施しています。お困りごとやご不安など、何かあれば短大学生課にご相談ください。

高等教育の修学支援新制度について

「高等教育の修学支援新制度」は、経済的に厳しいご家庭でも大学に進学できるよう、その負担を軽減することを目的として国が実施する制度です。

支援を受けるためには、在籍している学校（受験生は高校等）に申し込み、対象者となることと、国の要件を満たした大学・短大等に進学することが条件になります。創価女子短期大学も、対象校として2020年度より承認されています。

支援の対象者が、対象となる大学等に進学した場合、「入学金および授業料の減免」と「給付型奨学金」の両方の支援が家計に応じて受けられることとなります（4段階）。

例えば、創価女子短期大学に入学した自宅外通学生が、支援の対象となった場合の支援額の合計は、最大で1年次は約170万円、2年間で約320万円の奨学金（減免・給付）が受けられることとなります。

※通学形態・生活保護等の世帯で支援額が異なります。また、家計・半期ごとの成績における継続審査があります。詳細は本冊子の「高等教育の修学支援新制度」をご確認ください。



入学金・学費

■納付金（2025 年度入学生・予定）

内訳				
入学金				200,000 円
		春学期	秋学期	初年度納付金
学 費	授業料	490,000 円	490,000 円	980,000 円
	実習費	12,500 円	12,500 円	25,000 円
諸 費	学生活動費	15,000 円	－	15,000 円
	新入生研修会費	20,000 円	－	20,000 円
合計		537,500 円	502,500 円	1,240,000 円

※ 入学金・学費・諸費は改定されることがあります。

※ 2 年次の納付額は、上表にある授業料・実習費の合計金額となります。

■学費納付期限

入学金	1 年次		2 年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
合格発表後 1～2 週間	入学前 3 月上旬頃	11 月上旬	5 月下旬	11 月上旬

※ 学費・諸費は、1 回払いか、2 回払いが選択できます。

1 回払いを選択された場合、春学期納付時に秋学期分も納付いただきます。

寮 費

※選考後、決定者には学費と合わせて納付していただきます。

	部屋	入寮費	舎費	合計
朝 風 寮	2 人	50,000 円	358,000 円	408,000 円
香 友 寮	2 人	50,000 円	338,000 円	388,000 円

※ 入寮費・舎費は改定されることがあります。

※ 在寮期間は 8 月と 3 月の退寮期間を除く約 10 か月間となります。

参考データ：1 か月あたりの生活費

私立短大生の居住形態別支出金額 ※JASSO 調べ（令和 4 年 3 月）

	自宅	寮	下宿
修学費	5,000	6,000	5,000
課外活動費	1,000	1,000	1,000
通学費	7,000	1,000	2,000
食 費	6,000	17,000	19,000
住居・光熱費	0	28,000	38,000
保健衛生費	4,000	4,000	4,000
娯楽・嗜好費	9,000	9,000	11,000
その他の日常費	12,000	13,000	14,000
合 計	44,000	79,000	94,000

創価女子短期大学が独自で実施している給付型奨学金 ※入学後に給付

経済的に困難な学生を支援するための奨学金

○家計収入基準（1～3の奨学金制度に適用）

主たる生計維持者の年収が、給与（年金）所得の場合は収入金額（課税前）が600万円未満、事業所得の場合は所得金額が250万円未満であること。

※以下1～4の奨学金制度と「高等教育の修学支援新制度」とは原則併給できません。

1	創価女子短期大学給付奨学金	給付型・返還不要
出 願	春学期6月～7月ごろに受付	
給 付 額	400,000 円（当該年度秋学期に一括給付）	
採用人数	2 名	
採用期間	1 年間 ※毎年出願可能	
出願条件	学業成績・家計収入基準を満たす学生	

2	創価女子短期大学牧口記念教育基金会奨学金	給付型・返還不要
出 願	春学期6月～7月ごろに受付	
給 付 額	④400,000 円 / ⑤200,000 円（当該年度秋学期に一括給付）	
採用人数	④3 名 / ⑤12 名	
採用期間	1 年間 ※毎年出願可能	
出願条件	学業成績・家計収入基準を満たす学生	

※1「短大給付奨学金」不採用者のなかで成績の高い者から順に採用されます。

3	短大白鳥会給付奨学金	給付型・返還不要
出 願	春学期6月～7月ごろに受付	
給 付 額	200,000 円（当該年度秋学期に一括給付）	
採用人数	20 名	
採用期間	1 年間 ※毎年出願可能	
出願条件	学業成績・家計収入基準を満たす学生	

※1「短大給付奨学金」2「短大牧口奨学金」不採用者のなかで家計困窮度の高い者から順に採用されます。

4	兄弟姉妹同時在籍者への給付奨学金	給付型・返還不要
申 請	4 月初旬に受付	
対象者	兄弟姉妹が創価大学・創価女子短期大学に在籍している新入生	
給付額	兄弟姉妹の同時在籍が2人目の場合、新入生に対し入学後「入学金半額」（10万円）を給付 兄弟姉妹の同時在籍が3人目以降の場合、新入生に対し入学後「入学金全額」（20万円）を給付	

※条件を満たす申請者は全員採用となります。

※兄弟姉妹が大学院または通信教育部に在学している場合、および編入学、転入学、再入学した学生は申請の対象者から除きます。

成績優秀者を奨励するための奨学金

▼入学試験の成績優秀な合格者に対し授業料・教育充実費の半額分を給付する制度です。

5	特別奨学生	給付型・返還不要
給付額	435,000 円（1 年次は春学期に一括給付、2 年次は半期ごとに給付）	
入試	一般入試	
採用人数	若干名	
採用期間	2 年間 ※学業成績による継続審査あり	
対象者	全受験生（手続きは不要・採用者には合格通知に記載）	

▼大学入学後の成績優秀者を奨励する奨学金です。

6 学業奨励賞		給付型・返還不要
給付額	当該学期に 8 万円を支給	
採用人数	21 名（年間合計人数）	
採用期間	当該学期	
採用方法	各学年で学期ごとの GPA※上位者 7 名を採用	
対象者	全学生（手続きは不要・全学生の成績を審査し、採用者に通知）※1 年次春学期は除く	
※GPA(Grade Point Average) : 大学入学後の成績指標。各科目の成績評価と単位数から成績点数を換算し、その成績点数の合計を総履修単位数で割った数値。		

その他の奨学金

▼海外研修プログラムに参加する学生を支援するための奨学金制度です。

7	短大白鳥会海外プログラムサポート奨学金	給付型・返還不要
対象者	SUA 短期留学プログラム、ミリアムカレッジ夏季語学研修、オタゴ春季語学研修に参加する学生	
給付額	年度によって異なる	
採用人数	参加者全員	
申込方法	手続きは不要・採用者にはオリエンテーションにて通知	

※掲載している内容は 2024 年 5 月時点における、2024 年度実施予定のものです（一部、2023 年度実績を含む）。今後変更される場合があります。最新情報は本学ホームページをご確認ください。

学外奨学金・貸付制度

創価女子短期大学以外の団体が実施する奨学金です

高等教育の修学支援新制度

減免型・給付型・返還不要

支援内容	○対象者には入学金及び授業料の減免と、生活費のための奨学金が給付（返還不要） 私立短大生の減免額（年額）：入学金上限約 25 万円（本学の場合は 20 万円） 授業料上限 62 万円 私立短大生の給付額（月額）※：自宅生 38,300 円（年間約 46 万円） 自宅外生 75,800 円（年間約 91 万円） ※生活保護世帯または児童養護施設出所者等で保護者等と同居する学生には月額 42,500 円（年間 51 万円）給付 ◎家計基準（一部、子どもの人数の基準）の区分に応じて、上記支援標準額の【全額、3分の2、3分の1、4分の1】の支援が受けられます。
対象者	○国の要件を満たした大学等に在学する学生であること ○家計基準、成績基準の両方を満たすこと ※高校卒業後 2 年以内の方、高卒認定試験合格後 2 年以内の方も申し込み可能です（年齢による制限があります）。 ※その他に国籍や在留資格による基準もあります。
家計基準	○家計基準は住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯（4 段階で支援） 以下の算式により算出された額について、保護者、学生等の合計額が基準額に該当すること 【算式】市町村民税の所得割の課税標準額 × 6 % - （調整控除の額 + 税額調整額）※ ※政令指定都市に市民税を納税している場合は、（調整控除の額 + 税額調整額）に 3/4 を乗じた額 第Ⅰ区分（標準額の全額支援）：100 円未満（市町村民税所得割額が非課税となる者を含む） 第Ⅱ区分（標準額の 2/3 支援）：100 円以上～25,600 円未満 第Ⅲ区分（標準額の 1/3 支援）：25,600 円以上～51,300 円未満 第Ⅳ区分（標準額の 1/4 支援）：51,300 円以上～154,500 円未満の「多子世帯（扶養する子どもの数が 3 人以上の世帯）」 ○日本学生支援機構のホームページでシミュレーションすることができます。 進学資金シミュレーター：https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/ ※保有する現金等の資産（預貯金・有価証券等）が 2,000 万円（父子母子家庭は 1,250 万円）以上の場合、対象外となります。
成績基準	○成績基準は高校時の成績だけでなく、学習意欲を確認 高校 2 年次（申込時）までの評定平均値が 3.5 以上 評定平均値が 3.5 に満たない場合、レポート等により学習意欲が確認できれば申し込み可能 ※高卒認定試験合格者は評定平均値を問わず、レポート等の提出も不要です。
採用期間	○採用年度から 2 年生まで 入学後の成績および家計状況について継続審査があります。成績状況については半期ごと、家計状況については毎年夏に実施される審査結果に応じて区分が変更することがあります。
出願期間	予約採用 ⇒ 高校 3 年時 4 月～7 月頃（在学高校の奨学金担当者にお問い合わせください） 在学採用 ⇒ 大学入学後、4 月初旬（一次採用）・10 月初旬（二次採用）に案内予定
注意事項	日本学生支援機構第一種奨学金（無利子）と併せて利用する場合、第一種奨学金の月額が区分に応じて自動的に併給調整（減額）されます。 ※日本学生支援機構第二種奨学金（有利子）は併用可能です（調整もされません）。 ※創価女子短期大学独自の給付奨学金制度および地方公共団体、民間団体の奨学金制度についても、各制度によって併給の可否が異なりますので、各制度の詳細をよくご確認ください。

進学資金
シミュレーター



※予期せぬ事情により家計が急変し、急変後の収入が家計基準を満たす場合、事由発生から 3 か月以内（入学前の事由は入学後 3 か月以内）に申し込むことにより、年度の途中からでも支援を受けることができる「高等教育の修学支援新制度（家計急変）」があります。

※その他、制度の詳細は以下のホームページをご確認ください。

① 文部科学省 ホームページ：<http://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

② 日本学生支援機構 ホームページ：<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

①



②



○創価女子短期大学に入学した場合の入学金・諸費を含む 1 年次の減免額と納付額（年間）

	第Ⅰ区分(全額減免)	第Ⅱ区分(2/3 減免)	第Ⅲ区分(1/3 減免)	第Ⅳ区分(1/4 減免)
入 学 金 減 免 額	200,000 円	133,400 円	66,700 円	50,000 円
授業料減免額(年間)	620,000 円	413,400 円	206,700 円	155,000 円
納 付 額 (年 間)	420,000 円	693,200 円	966,600 円	1,035,000 円

※上記減免額は各支援区分に応じて減じられる金額です（100 円未満切上げ）。支援区分の変更により、授業料減免額は変更される場合があります。

※入学手続き時の納付額は、合格通知発送時に送付する入学手続要項をご確認ください。

日本学生支援機構 第一種・第二種奨学金 ※予約制度あり

	第一種奨学金	貸与型・無利子	第二種奨学金	貸与型・有利子
貸与月額	自 宅 生：2万円、3万円、4万円、5万3千円（最高月額） 自宅外生：2万円、3万円、4万円、5万円、6万円（最高月額） ※最高月額は機構の定める基準を満たした場合のみ選択可能		2万円から12万円のうち1万円単位で選択	
利 子	なし		年利0.369%（2022年3月現在・利率固定方式の場合） ※利率は上限年利3%	
出願条件	日本学生支援機構の定める「学力に関する基準」（高校での評定平均値3.5以上）と「家計に関する基準」の両方を満たしていること ※低所得世帯は基準なし		日本学生支援機構の定める「学力に関する基準」（標準的な成績であること）と「家計に関する基準」（第一種より緩やかな基準）の両方を満たしていること	
貸与期間	採用年度から2年生まで（継続審査あり） 貸与開始月は4月			
出願時期	①予約採用 ⇒ 高校3年時4月～7月ごろ（在学高校の奨学金担当者にお問合せください） ※予約採用者は期日までに手続きをすることによって、大学入学後4月から入金開始 ②在学採用 ⇒ 大学入学後、4月初旬開催の奨学金説明会に出席（第二次採用：10月申請も実施） ※在学採用者は採用後、6月に初回入金（4月～6月分がまとめて入金）			
注意事項	「高等教育の修学支援新制度」の対象者は、日本学生支援機構第一種奨学金(無利子)と併せて利用する場合、第一種奨学金の月額が区分に応じて自動的に供給調整（減額）されます。 ※日本学生支援機構第二種奨学金（有利子）は併用可能です。			

日本学生支援機構ホームページ：<http://www.jasso.go.jp>

※出願し採用になれば第一種奨学金と第二種奨学金の併用貸与も可能です。

※家計が急変した場合、1年以内に申し出ることにより、第一種奨学金と第二種奨学金の内、その時点で貸与を受けていない方の奨学金を事由発生年月まで遡って貸与を受けることのできる「緊急・応急採用」制度があります。

日本学生支援機構 入学時特別増額貸与奨学金 ※予約制度あり

貸与型・有利子

▼入学後、初回入金時1回限り、増額して貸与を受ける制度です。

貸 与 額	10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択（利息は第二種奨学金の利率に0.2%上乗せされ算出）
出願要件	利用する場合は、以下①②どちらかの条件を満たすこと ① 奨学金申込時の家計状況が、機構の定める基準（認定所得金額0円以下）を満たす場合 ② 日本政策金融公庫の実施する「国の教育ローン」に申し込み、公庫が定める要件を満たした上で、融資を断られた場合

全国労働金庫協会 入学時必要資金融資

貸与型・有利子

▼入学後に貸与する日本学生支援機構の入学時特別増額貸与奨学金を担保にして入学前に「ろうきん」から融資を受ける制度です。

貸 与 額	10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択（利息は年利1.81%程度）
申請要件	日本学生支援機構奨学金の「入学時特別増額貸与奨学金」を、高校在学時に予約で申請した方

※予約採用後に発行される「日本学生支援機構奨学金 採用候補者決定通知」に『入学時特別増額貸与奨学金（有利子）（日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込必要）』と記載されている場合、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」に申請し、融資を断られたことを証明する書類が必要になります。

※融資を申し込む際には、学生本人同伴のもと、本人確認書類や学費納付書などの提出が必要になります。詳細はお近くの「ろうきん」にお問い合わせください。

日本政策金融公庫 国の教育ローン

貸与型・有利子

▼申込みは一年中いつでも可能です。合格発表前でも申込みができますのでお早めにお申し込みください。

合格発表前、進学を決めた時点で相談、申込みをすることにより入学手続き時の入学金・授業料や留学、通学、下宿にかかる費用の支払いなど幅広く利用することができます。申込から10日前後で審査され、融資の決定からさらに10日程度で送金されます。

対 象 者	大学などに入学・在学する方の保護者および親族で、世帯の年間収入が基準額を満たす方
融 資 額	学生1名につき350万円以内（自宅外通学や海外留学等の一定の要件を満たす場合450万円以内）
返済期間	15年以内 ※父子母子家庭・世帯年収200万円以内等の方は18年以内
融資利率	年1.95%＜2022年11月現在＞ ※父子母子家庭・世帯年収200万円以内等の方は1.55%
そ の 他	（財）教育資金融資保証基金の保証（保証料が発生）または連帯保証人（1名以上）が必要です。
☎ テレホンサービス：ナビダイヤル 0570-008656 【詳細】 http://www.jfc.go.jp/	

銀行・金融機関の教育ローン

貸与型・有利子

銀行、金融機関によって、融資額、金利、収入基準額が異なります。詳細は直接銀行にお問い合わせください。

●楽天銀行教育ローン ●セディナ学費ローン（三井住友フィナンシャルグループ）は大学が提携している教育ローンです。

インターネットなどからお申し込みください（本学ホームページよりアクセスできます）。

自治体・公共団体および企業の実施する奨学金

給付型・貸与型

各団体によって基準を設け募集を行っています。返還義務のない奨学金や無利子のものもあり、学生にとって利点が多くあります。

予約型の奨学金制度を設置している団体もありますので、詳細は各団体にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 創価女子短期大学 学生課（奨学金担当）

 042-691-2201 (平日 9:00~17:00) ※土・日・祝日除く

 042-691-9301  swc@soka.ac.jp

 192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236

 <https://www.soka.ac.jp/swc/>



本学奨学金ホームページ

※奨学金の情報は今後更新される場合があります。本学ホームページを必ずご確認くださいませようお願いします。